広報あいかわ

発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
合川町公民館
（役場総務課　T　4
公民館　T　62）

定例町議会

中学校敷地取得を承認

追加更正予算など　十議案可決

定例町議会は十月十八日午前十時から二十五議員（欠席一）出席し役場会議室で開かれた。

この会期は二十一日までの四日間と決定し第一日は一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案など十議案が上程され、町当局から提出した議案の趣旨説明があり十九、二十日は議案整理調査のため休会することになり同日午後二時散会した。

再開された二十一日は二十六全議員出席のもとに開かれ上程されている十議案にわたり活発な質問意見がだされ次のように九議案は原案どおり可決したが合川中学校敷地買収の財産（土地）の取得については原案を審議すべきだと云う意見と中学校敷地だから町買収地だけでなく寄付採納願の土地と一しょに審議すべきであり、継続審議とすべきだとの意見にわかれ、この意見調整をしなければ議会運営に大きな支障をきたすと云うところから会期を二十七日まで延長し同日午後三時散会した。

なお提出された議案と審議結果は次のとおりである。

◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定（昭和三十四年七月の人事院勧告による中級職員の給与是正と期末手当〇、一％増を内容とし四月一日から適用しようとするもの）

＝原案満場一致で可決

◇特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定（議会の議員報酬額月額

議長　三、〇〇〇円を五、〇〇〇円

副議長三、八〇〇円を四、五〇〇円

常任委員長

二、七〇〇円を四、二〇〇円

議員　二、五〇〇円を四、〇〇〇円

それぞれ改め十月一日から適用するもの

＝原案多数で可決

◇昭和三十五年度合川町才入才出追加更正予算（一般職員の給与改訂、議員報酬の改訂、都市計画の工事変更、心配ごと相談所の設置、町有林造成事業費の追加などを主としたもの）

＝原案満場一致で可決

◇昭和三十五年度合川町国民健康保険特別会計才入才出追加更正予算（一般職員の給与改訂を内容としたもの）

＝原案満場一致で可決

◇昭和三十五年度合川町基本財産蓄積特別会計才入才出追加更正予算（一般会計の町有林造成事業費への繰出しするもの）

＝原案満場一致で可決

◇財産（土地）の処分（町基本財産造成基本計画により不用存地として町有財産金沢地内三七反一一二を五十万円に処分した承認を求めるもの）

＝原案満場一致で可決

◇財産の還元処分（町村合併協定事項により持寄した財産以外の旧財産のうち、大字三里地内の土地をそれぞれ還元譲渡するもの）

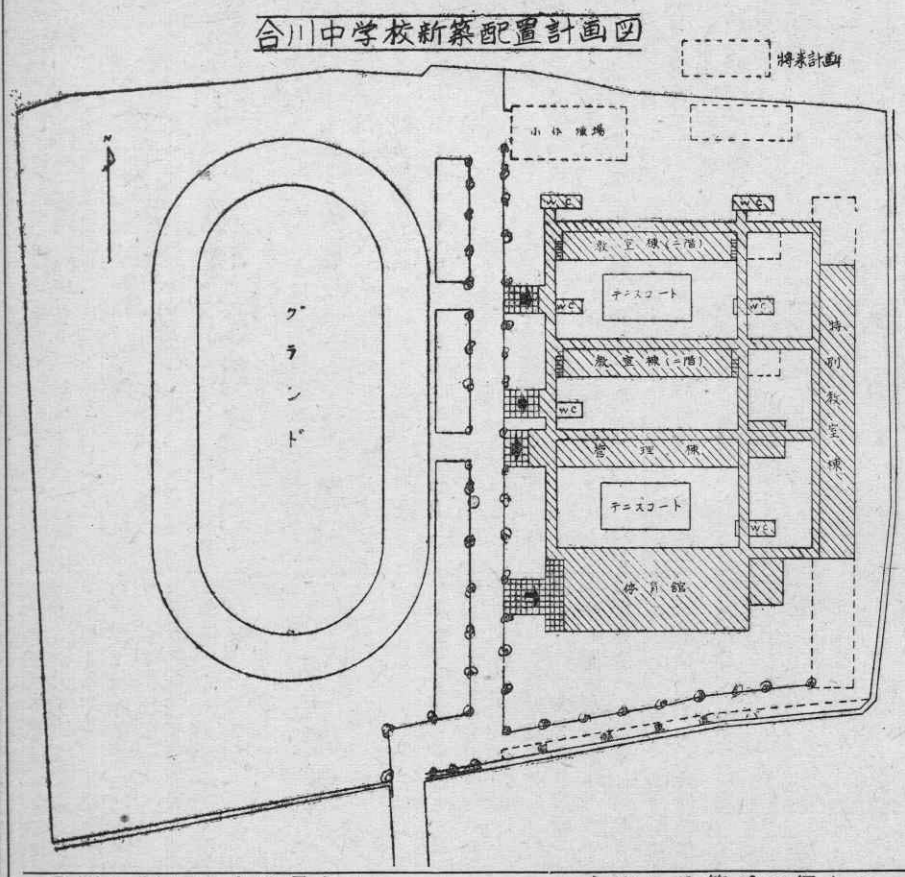
＝原案満場一致で可決

◇官行造林の契約の承認（町有地木戸石深沢、奥増沢、雪田沢、孫七沢の計四六、五〇九九ヘクタールを秋田営林局と公有林野官行変更契約の締結の承認を求めるもの）

＝原案満場一致で可決

◇財産（土地）の取得（合川中学校敷地として李岱字家ノ向ほか九反七二五を取得することについて議決を求めるもの）

＝意見調整のため二十七日の本会議まで持越し。



合川中学校の形式統合とその対策

解説

去る九月一日をもつて西南、北中学校を統合し、合川中学校として発足したのであるが、新校舎ができるまでのあいだ現在の校舎に分住するという即ち形式統合の処置をとつたことについてご不審の方も相当あるようでありますのでこれらについての経緯や事情を解説いたします。

〃なぜ形式統合をするのか、校舎のできたとき統合した方がよいではないか〃

これは一応誰れもがそう考えることでありますが要は経費の関係から生ずる処置であつて、校舎建築の財源が国の補助金と起債で総建築費の三分の二をしめているのでこの手続きを踏まない限り町村の一般財源では町の財政負担が多くなることになります。

そこで実際建築にとりかかる年度の少くとも半年前に統合の認可を得、しかる後に補助、起債の認可申請をする順序になるわけで、これによつて文部省は継続事業でやつている町村、次に新たに統合形式をとつて申請する町村といつた順位で許可をあたえ、町村はこれによつてその年度の建築にとりかかるということになります。

もちろんその町村の財政事情等によつて短かくて二年長いので五年位の継続事業で完成するのですが合川町としては三ヵ年で完成する予定になつています。

〃形式統合のため、各校舎の管理が不充分にならないか〃

一校舎に校長先生が一人ずついたのに三校舎に一人では学校管理が手薄すくなることになりますがこの対策として各校舎ごとに経営管理に経験のある校舎主任を配置して常時連繋をとり、学校長はまた間断なく各校舎を巡視しているので旧来に比較してそうそん色のある編成ではないわけであります。

〃形式統合によつて来年度から教職員の数が減ずるのではないか〃

これは原則として統合した場合の学級数により教職員を配置することになるので定員としては減るわけであるが、その分に対しては現状に即応して定員外の教員を配置してくれるか、あるいは過員になる教員の交流が円滑にいかぬ場合はそのままの状態で編成することができますので、この点は実質的に何等影響がないことになります。

これは要するに学校統合は教育の効果をよりよくするのが目的でありますから、たとえ形成統合の期間中であつても現在よりも特に教育的にマイナスをあたえるような欠かんの生じないよう施策することが肝要でありますし、そしてそのようにしてもらえることになつております。

（合川町教育委員会）

鉄砲の事故に注意を

（十一月一日から）狩猟解禁です

ことしもまた十一月一日から狩猟解禁期を迎えることになります。

最近、空気銃や猟銃に対する関心がたかまり、新しく生れるハンターの数は急激にその数を増しています。したがつてこれら猟銃や空気銃による事故数も年々ふえている状態です。

原因について調べてみると

①使用の現場で見通しをおこたり、仕事中の農夫や歩行者に命中、傷害を与えたもの。

②獲物を発見してあわてて装填、発射等を行ない、暴発または外れ弾を出し自分や他人に傷害を負わせたもの。

③安全装置をしないで携行中、てん倒、その他の衝撃、接触などにより暴発して事故をおこしたものなど、取扱上の不注意によるものが圧倒的に多くなつていますから十分の注意をすることが大切です。

一方空気銃の事故の原因はもて遊びによるものが多く未成年者が空気銃を手にした場合の周囲の人たちの指導、監督が大切です。

十一月一日の狩猟解禁をまえに、とくに新しくきめられたものに、めすキジの捕獲の禁止があります。

これは国鳥といわれ、猟鳥の大宗であるキジが最近非常に減つてきていることから一定期間保護の措置をとるものですから、めすキジは捕らないようにしましょう。

滞納町税の一掃へ

町の台所の中心となつている町税は二千八百万円でありますが、町では年内の完納を期待し総力をあげてこの十月末から各部落一斉に督励にあたることになつたので町民の協力を望んでいます。

◎納期の過ぎた税金

県、町民税　一、二期

固定資産税　一、二期

国民健康保険税　一、二期

自転車荷車税）

木材引取税）　随時

このため町では納税貯蓄組合の設立と計画納税を合せてすすめていますが特に納期の長く過した未納世帯に対しては財産差押えなどの強硬処分も行なうことになつているので供米代金等で比較的納めやすい時期でもあり、この機会に完納するようご協力下さい。

総選挙の立会演説会

本町11月6、13日に

衆議院解散にともない行われる総選挙における立会演説会が当町では次のとおり開催されることに県選挙管理委員会では予定している。

なお、A班、B班の編成は立候補者受付のあとに行なわれることになります。

◇十一月六日午後一時
第一区A班
合川中学校西校舎

◇十一月十三日午後一時
第一区B班
合川中学校西校舎

秋の大掃除

7日から11日まで

町民課では秋の大掃除の実施準備を進めていたが、このほど各地区ごとの日程をきめ、各部落代表者を通じて協力方を依頼した。

また同課では便所の汲取口流し尻のフタが完全か、周囲が清潔か。堆厩肥置場や家屋内外の清潔整とんにも留意されるよう望んでいる

◇大掃除実施日程

十一月七日＝道城、桃栄、上杉、下杉、梅栄、弥栄、金沢

同月八日＝駅前、川井、八幡岱、木戸石、美栄

同月九日＝増沢、李岱、福田、新田目、羽根山、羽立

同月十日＝杉山田、雪田、鎌沢、三木田、摩当

同月十一日＝三里、大内沢、芹沢、東根田、西根田

執務時間一部変更

十一月一日から

現在町の職員の執務時間は午前八時三十分から午後五時十五分までとなつているが、最近は日が短く、午後五時近くになると暗くなり事務能率も低下するので燃料費、電灯料等の節約の面も考慮し、当分の間執務時間を次のように変更することになつた。

▽執務時間
午前八時三十分から午後四時三十分まで

▽休憩時間
午後零時十五分から同四十五分まで、休息時間四、三〇～五、一五

▽期間
十一月一日～二月末日

▽その他
土曜日の執務時間は午前八時三十分から午後零時十五分まで。

御芳志

合川駅助役成田徳蔵氏（李岱）は御母堂マツエ儀の忌明にあたり香典返しとして金五千円也を合川町共同募金会へご寄付されました。

町メモ

10月5日　教育委員会
7日　都市計画現地調査のため建設省係官来町
8日　教育委員会、公民館職員会議
10日　精神薄弱者収容施設予定地現地調査のため県共募係員来町
13日　国勢調査合同審査会
18日　定例町議会
21日　定例町議会
24日　消防幹部会

第五回農産品評会
農民祭として盛大に
公民館は協賛行事を

合川町農協連絡協議会では、このほど今年の農産品評会の開催要項を次のように発表した。この町の品評会で入賞した農産物は十一月中旬鹿角郡花輪町で開かれる秋田県種苗交換会に出品されることになつている。農家がこの一年、汗と力と愛情で作りあげた農作物の結果を発表する最大の機会であり、県種苗交換会への予選的なこの品評会へ多くの優秀な農産物の出品をされるよう望まれている。

町公民館では、この農産品評会の協賛をかねて全町文化祭を開くことになり、町の農民祭として盛況が期待されている。

農産品評会開催要項は次のとおり。

▽名称
第五回合川町農産品評会
▽主催
合川町農協連絡協議会
▽後援
合川町
▽期日
十一月一日～四日
▽会場
合川東中学校
▽日程と行事
一日＝各農協ごとに出品物の収集
二日＝出品物受付、出品物陳列、審査
三日＝全町文化祭、阿仁部駅伝大会
四日＝講演会（今後の農業の方向）褒賞授与式（品評会、米多収穫）農協役員大会
▽出品物
水稲、陸稲、蔬菜、果実苗木、わら工品、葉たばこ、農産工芸品、サイレージ及び乾草、その他
一、出品物は合川町内において本年度中に自己生産による優良品であること
二、出品物は審査の上一等から四等に区分しそれぞそ褒賞を授与する。

＝公民館の協賛行事＝

町公民館では、町内の定時制高校、大野台伝習農場婦人会、青年会、一般に呼びかけ合川町農産品評会の協賛をかね全町文化祭を期間中の十一月三、四日会場の一部で行なうことになつた。この内容は展示の部（三、四日）書道、写真、いけ花、文化財

演技の部（三日正午から）舞踊、音楽（合唱、器楽民謡）郷土芸術、合川音頭発表、演劇

などとなつており、広く町民一般から多数の参加されるよう期待されている。

出して消すより
出さぬ用心

合川町消防団防火ポスター
応募作品 東小 5年 成田巌

いよいよ火災シーズン
四日から秋の防火運動

秋の深まりとともに火が恋しくなりますがそれにともなうごとくこれから冬にかけて空気が乾燥し、季節風がやつてきて火災が起りやすい気象状態となりますとになつた。

わが町でも消防団が中心となつて、火災のおこらないよう町の火災予防条例にもとづいて、各家庭の火の取り扱いやその施設の点検などの指導に巡回することになり、一方消防団では一朝有事には非常勤消防という恵まれない条件のなかで如何に早く消防作業に入り、町民の生命財産を守るかということから防火週間中の十一月五日李岱部落において阿仁部各町村の自動車ポンプ応援の阿仁部ブロック想定訓練を行なうなど合川町から火災をなくしようと張り切つています。

しかし火事といえばそれ消防だという空気がないだろうか。

町民の一人一人が正しい知識と理解をもつて皆んなが消防員と同じ気持ちになり火事を防ぐことこそ火災を防ぐ唯一の道でないだろうか。

皆んなの生命財産は皆んなの力で守りましよう。

なお四日から十日まで朝の五時と夜の九時にはサイレンと警鐘がなることになつております。

阿仁部駅伝三日に開催

町体育協会では合川町農協連絡協議会と共催で十一月三日第四回阿仁部社会人駅伝競走を実施することになつた。

コースは阿仁町阿仁合→森吉町米内沢→上小阿仁村羽立→合川町駅前（東中学校ゴール）まで九区約四十五粁を走破する。

参加チームは二連勝の阿仁合連青を始め八チームが予想され、阿仁街道に大激戦が展開される。

なお、阿仁町から午前十時にスタート、正午過ぎにゴールされるものと思われる。

高値をよぶ登録和牛
手続きは役場経済課へ

食肉の需用が年々増加するにつれ、和牛の市場取り引き価格が相当によい価格で取り引きされておりますが、なかでも特に登録された和牛は高値をしておりますので、飼育している方はぜひ登録をすませ、少しでもよい価格で取り引きするようおすすめします。

登録を希望される方は次のことがらを参考にして役場経済課畜産係まで申し込み下さい。

○補助登録
三代前血統明確なもので審査点数が七五点以上の牛で、とくに今回に限り年令に制限がない。

○予備登録
補助登録のめすに補助登録牛のおす以上の牛を交配した仔牛で審査点数が七五点以上の牛で生後一八ヵ月より三六ヵ月以内に登録をとること。

○本登録
予備登録牛めすに予備登録牛のおす以上の牛を交配した仔牛で審査点数が七七点以上の牛で、生後一八ヵ月より三六ヵ月以内に登録をとること。

○（註）
犢登録証明書をもつて自分の牛は登録牛であると思い違いしている人がいるので、犢登録証明書をもつている人は、生後一八ヵ月より三六ヵ月以内に登録をとるようにして下さい。

山形市蔵王農協の養豚事業を視て（下）

経済課 木村仁兵衛

〝三交血又は四交血とは〟

デー系、これはアメリカで放牧用として品種改良された茶褐色で鼻が黒く長い、性質の温厚な晩性種、デュロックジャー種ともいう豚二十貫を過ぎる頃から粗食でめきめき大きくなるという。

その前にここの蔵王農協で作り上げた三交血とは、支那豚（これは多産で粗食に耐え子育ての名手）×バークシャー種（黒豚で粗食に耐える）で一代雑種を作り上げ（FIという）それにデュロックジャー種を交配したものをいつている。

それにさらにヨークシャー種（普通飼つている白豚）を交配すれば四交血となり各豚の優点を具備した優秀なものができ上るというわけだ。

現在会員が個人で飼育している繁殖用のものは、三交血で共同飼育のものは、肉用として出す四交血を飼育していることになる。

この四交血は、ヨークシャー（白豚）より一ヵ月早く仕上ができるということだつた。

肉の歩留りは、六三％～六五％に上るというからヨークシャー種と大差がない。

また肉質はよく、ヨークと同一価格で東京芝浦の屠場で取り引きされるというからまさに一石二鳥というわけだ。

〝共同飼育は引きあつているか〟

市場に出すまでの飼料費（草及び購入飼料も含めて）一頭当り六千円に仕上げが出来るといつている。

それに子豚代四千百円を加え、計一万百円として二十貫で（四ヵ月半位で二十貫にできるという）二万二千五百円とすれば（二十貫は七五キロ、キロ当り三百円として）22,500－10,100＝12,400一頭当り一万二千四百円の収入となり、七八頭飼育しているが、七五頭販売したことにして

12,400×75＝930,000

となる。

内最初出資した四二万円を差引いても五一万円がここ一年内に約束してくれる笑いの止まらぬ話しだ。

今年中に原価消却できますか？と質問したが、できますと答えたきり、ニコニコ笑つている。

よく計算して見ると、質問する方がどうかしているとになりました。

帰りに繁殖豚を飼育している農家をみたが、ビニールの袋に数個蚕糞が入つていた。また雑草は、当町の馬を飼育している農家でやつているような禾本科の雑草

〝指導体制と援助体制〟

まず農業協同組合の外に養豚組合があり、ちようど我々が視察から帰つた時に養豚組合の役員会が開かれる直前だつた。

そこでここの組合長にいろいろ話しを聞いてみた。

ここ蔵王地区の養豚組合は交血種飼育農家を主体にした四十戸の農家で結成し、子豚の販売飼育、飼料の販売は、農業協同組合と表裏一体となつてやつているとのこと。

また、経済連では相当な熱の入れようでサイロの助成や子豚購入に際して融資を利用した場合の利子補給等犠牲的努力をしているということだつた。

また共同飼育の申し込みは現在三グループきているということで、ますます豚熱は上昇の一途をたどつているらしい。

ここの組合長さんはまた大変な勉強家でアメリカの養豚事情から国内はもちろん北秋地帯と青森の一部に於ける子豚価格の安いのを披露してくれた。

また肉相場の見とおしも立て、昭和三十七年頃から安くなるだろうといい「まあ今のうちにうんともうけましようや」と冗談をいつていた。

また、経済連では相当な熱品種改良や、奨励についてはは、県段階では、むしろこの飼育者によつて手を引かれているような現状で、種畜場においても今春から飼育比較試験を初めているということであつた。

〝蔵王地区のあらまし〟

蔵王農協の農家戸数は約八百八十戸、耕地が水田五百ヘクタール、桑園八十ヘクタール、果樹五十ヘクタール、普通畑二百ヘクタールからなつており、米は約一万五千俵出荷、養鶏が二万羽、搾乳牛が八十頭ということで、普通畑にはホップの栽培も多く、反当り十万円は下らず、キリンビールと契約しているということであつた。

（おわり）

光弘ちゃんら県最終審査会へ

昭和三十五年秋季秋田県赤ちゃんコンクールや第二次予選（各保健所ごと）審査会がさきほど鷹巣保健所で行なわれたところ、当町から参加した金田光弘ちゃん（七月二十六日生まれ、西根田洋三さん長男）と桜庭可奈子ちゃん（十月三日生れ、川井末吉長女）の二人が見事入賞、来る十一月初旬行なわれる県最終審査へ参加することになつた。

広報スポット

〝硫安価格はすえおき〟

硫安は国内価格と国外価格の二本建ての値段がつけられていて、輸出するときは国内価格よりずつと安い値段で売られている。

国内の最高販売価格と輸出価格との差が硫安の輸出赤字で七月末には百十五億円の赤字となつている。

そこで硫安メーカーは、この輸出赤字をなくするように政府が対策を講じてくれないことには新しい肥料年度（八月～七月）から硫安の価格を決める相談には応じられないと拒否したため三十四肥料年度の価格がそのまま引継がれることになつてしまつた。

したがつて硫安価格の引下げはできなくなつてしまつたわけだ。

定例町議会二十七日再開

追加案件として

◇財産（土地）の取得（合川中学校教地として西地区から李岱字家ノ向六〇〇〇坪の寄附願出の土地を取得することについて議決を求めるもの）

が上程されさきに持越しされていた合川中学校教地として町が売収した土地の取得承認の件と一括審議に入り各常任委員会ごとに別れ話し合いを続け本会議で採決の結果多数でこれを承認し同日午後二時三十分定例町議会を閉会した。

あとがき

◇国会は二十四日午後九時過ぎ二年五ヵ月振りに解散した。

十一月二十日のゴールめざし選挙戦が展開されるが、民主主義のもとに平和で豊かな生活をきずくために民意が正しく国政に反映するよう、選挙こそ公明に行なわれるべきである。

◇ことしの農産品評会が一日から東中で開かれる。農業技術もさることながら経営の共同化が論議されているおりから、四日に行なわれる講演会「今後の農業の方向」には大いに関心が寄せられるところである。

（広報係松橋主事補）